



稲岡正一 議員 (阿波みらい)

庁舎について、昨年九月議会で、平成二十年三月までに用地の決定をしたいとの答弁があったが、まだできていない。合併協定書に明記された事項が履行されていないことへの責任をどう感じているのか。

用地については、申し訳なく、心からお詫びしたい。今の財政状態からも、これから年次の計画をし、二十年度に基金条例の制定について議会に諮りスタートを切り、必ず庁舎ができるよう方向づけをしたい。

公共下水道事業について、市全体の汚水処理問題の中で、二十年三月までに結論づけることだったが、その結論は。

現在、汚水処理検討委員会が審議されており、三月中旬に結論が出るようになってきている。その時に一括して協議をしたい。

阿波農業高校の統合に伴う跡地利用と、開校準備委員会への地域住民の参加について。

県教委は、統合に向けた開校準備委員会を平成二十年度に設置する。その中で、阿波農業高校の施設の使用等についても決定していくようである。県教委の中で委員を構成することになっているが、地域住民も加えてもらうよう要望したい。



岩本雅雄 議員 (阿波みらい)

養護老人ホーム吉田荘は、寄付を財源に、昭和四十九年に開設された。新聞報道では、廃止も含め検討されているようであるが、私は絶対に必要な施設だと思ふ。吉田荘の存続について、その場合の運営方法は。

現在、外部委員、議会関係、

行政関係で構成する検討委員会の中で、改築する場合の資金、今後の運営方法等について討議しており、十分深く検討していきたい。施設が古く、改造等に多額の資金がかかることが一番のネックである。

県道志度山川線バイパス事業は、非常に時間がかかっており、地元住民は首を長くして待っている。現在の進捗状況、今後の予定をお聞きしたい。

この事業は、延長千九百m、幅員四・五mで計画され、平成二十年度から、県単独事業と緊急地方道路整備事業とで、五工区に分割し実施されている。第二工区の県道船戸切幡線から市道南五味知網懸線までの延長三百mは、用地補償も順調に進み、十九年度は事業費四千万円で着手している。第三工区の市道東原南五味知一線までの四百四十mは、二十年度に用地買収に着手すると聞いている。



江澤信明 議員 (阿波清風会)

平成二十年度の一般会計予算の中で目玉となる政策は何なのか。

広報誌への広告料などの自主財源の確保と増大、乳幼児等医療費の助成対象年齢の十二歳未満までの拡充、予想される東南海・南海地震への対策として防災体制の整備などである。

災害時のライフラインの確保について、学校の建物や橋の耐震化、耐震診断は進んでいるが、水道施設や飲料水の対策はどうか。井戸水の利用を考えると、災害時に使用できる井戸水マップを作成すればどうか。

震災時においても給水を確保するために、基幹水路の耐震管への更新を進めているが、本市の耐震化率は十%で、全国平均は十一%である。配水池への緊急遮断弁の設置も検討する。災害時に役立つ井戸マップ作成

について調査検討する。保育所の民営化について、どのように検討して、スケジュールはどう考えているのか。

十九年度は部内で検討会を開いた。二十年度は外部検討委員会、専門部会を立ち上げる。各地で保護者への説明会を開き、よく意見を聞きたい。様々な広報において情報公開をしたい。



森本節弘 議員 (志政クラブ)

阿波市内においても、今後集中的に大規模な補修や架け替えが必要となる時期を迎えることになる。予防的な補修工事を計画的に実施し、長寿命化を図りたいと考えており、基本調査を行い、平成二十一年度には橋梁長寿命化修繕計画書を作成し、適切な補修工事の選定と、修繕等の早期対応により、今後とも維持管理に努めていきたい。

公共工事完成時の品質等の検査体制は整っているか。

平成二十年度から、一層の品質確保に向けた取組の一つとして、専門の検査員を配置する条例改正案を提案している。

療養給付費が増大する中、疾病予防の観点から、市の取り組み基本的対策は。

市では三つの推進事業を実施しており、母子保健事業、予防事業、老人保健法による成人の健診を重点的に実施。また平成二十年四月から、四十歳以上七十四歳未満の被保険者の特定健診及び特定保健指導が始まり、健診率の向上に努めている。

市民生活の目標指針となるが、すべての公共施設に掲示してはどうか。

市のシンボル、指針であり、非常に大事と思うので、掲示していきたい。



月岡永治 議員 (志政クラブ)

学校給食について、生産者の顔が見える地産地消の取組をどのように進めているのか。

県が掲げる学校給食の地場産物活用目標数値は三十%で、阿波市内では、平均で四十二・三%となっている。

学校給食センターの統合問題について、板野郡西部学校給食組合との話し合いは。

市内統一した給食の提供というところで、できるだけ早く議論として持ち上げなければならぬと考えている。

本市の奨学金制度について、生活困窮者の方が申し込んでも、基準に該当せず受けられないことがある。段階をつくり給付金額を下げてでも、多くの人に門戸を広げる考えは。

今後再検討し、制度の見直しはしていきたいと思う。

阿波市工場設置奨励条例に關し、企業誘致における土地の提供者、協力者への優遇制度はないのか。また、土地開発公社を設立してはどうか。

この条例は、企業に対しての優遇措置であり、土地提供者へのもではない。今後対応を考えていきたい。土地開発公社の設立ができるかどうか、内部で協議をしていきたい。



香西和好 議員 (公明党)

市民生活の目標指針となるが、すべての公共施設に掲示してはどうか。

市のシンボル、指針であり、非常に大事と思うので、掲示していきたい。

平成20年第1回 阿波市議会定例会 議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
議案第1号	平成19年度阿波市一般会計補正予算(第4号)について	原案可決
議案第2号	平成19年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第3号	平成19年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第4号)について	原案可決
議案第4号	平成20年度阿波市一般会計予算について	原案可決
議案第5号	平成20年度阿波市御所財産区特別会計予算について	原案可決
議案第6号	平成20年度阿波市国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第7号	平成20年度阿波市老人保健特別会計予算について	原案可決
議案第8号	平成20年度阿波市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第9号	平成20年度阿波市農業集落排水事業特別会計予算について	原案可決
議案第10号	平成20年度阿波市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算について	原案可決
議案第11号	平成20年度阿波市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	原案可決
議案第12号	平成20年度阿波市介護保険特別会計予算について	原案可決
議案第13号	平成20年度阿波市伊沢谷簡易水道事業特別会計予算について	原案可決
議案第14号	平成20年度阿波市水道事業会計予算について	原案可決
議案第15号	阿波市行政組織条例の一部改正について	原案可決
議案第16号	阿波市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第17号	阿波市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第18号	市長及び副市長の給与と地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第19号	阿波市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第20号	阿波市ケーブルネットワーク施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第21号	阿波市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第22号	阿波市後期高齢者医療に関する条例の制定について	原案可決
議案第23号	阿波市コミュニティセンター設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第24号	低開発地域工業開発地区の指定に伴う市税課税免除に関する条例の廃止について	原案可決
議案第25号	阿波市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第26号	阿波市介護保険条例の一部改正について	原案可決
議案第27号	阿波市高齢者支援事業に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第28号	阿波市共同作業所の設置条例の廃止について	原案可決
議案第29号	阿波市保健センター設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第30号	阿波健康福祉センター設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第31号	阿波市重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第32号	阿波市工場設置奨励条例の一部改正について	原案可決
議案第33号	阿波市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第34号	阿波市立学校設置条例の全部改正について	原案可決
議案第35号	阿波市立学校施設使用条例の一部改正について	原案可決
議案第36号	阿波市奨学金交付条例の一部改正について	原案可決
議案第37号	阿波市ケーブルテレビ施設整備工事(第2工区)変更請負契約の締結について	原案可決
議案第38号	阿波市ケーブルテレビ施設整備工事(第3工区)変更請負契約の締結について	原案可決
議案第39号	阿波市道路線の認定について	原案可決
議案第40号	阿波市道路線の変更について	原案可決
議案第41号	公平委員会委員の選任について	同意
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意
発議第1号	地方の道路整備の促進と道路特定財源の確保を求める意見書の提出について	原案可決
発議第2号	「非核日本宣言」を求める意見書の提出について	原案可決
発議第3号	公営施設(事業)民営化特別委員会の設置について	原案可決
議案第42号	監査委員(議会選出)の選任について	同意
推薦第1号	農業委員会委員の推薦について	同意

本庁、各支所、市内公共施設十三か所に掲示している。

現在の掲示数では、市民に周知できないと思われるが、今後主管理課と協議し、公共施設に掲示し普及に努めたい。

市民に周知するために、市民憲章を配布してはどうか。

市民から要望があれば配布していきたい。

市民が安全安心で、事件事故を未然に防ぐために設置されている防犯灯の管理を、どのようにしているのか。

個々の点検は行っていない。市民からの通報等により対応している。

設置から三十年、四十年以上の器具があるようだが、年度別に交換してはどうか。



武田 矯 議員 (志政クラブ)

水道事業の効率の向上対策は。また、減圧弁は市内に何か所設置されているのか。

平成十八年度の有収率は、阿波市全体で約六十八%である。減圧弁の数は、阿波町の長峰配水池区域と市場町の市場高区配水池区域の二か所だけである。小倉配水池付近の一部では加圧して配水をしている。水圧の低い地域が広範囲のため、改良が

できていない状況である。漏水対策と有収率の向上に努める。

農業について、冬場、約四千町歩の大半の耕地が遊休地となっているが、この対策は。

冬作における麦の奨励金については認定農業者でなければならぬ。諸般の農業情勢がかわっていくと、国の施策が大きく変わる時期とも考えており、それを見ながら、関係者、農協等と協議していきたい。

CO2対策への取り組みについて、農業立市即ち環境立市である。これを十分に活かしてはどうか。

植物には、太陽エネルギーを利用しCO2を有機物として蓄え、山林もCO2の吸収源として重要視されている。本市も、本年度二十四ヘクタールの植林を計画している。

今議会では、公営施設(事業)民営化特別委員会を設置しました。昨年、鳴門市や福井県あわら市の保育所民営化の状況を視察しました。両市とも、以前から民間の保育所が数か所あり、保護者も民営化によるメリットをよく理解していました。視察した市でも、半分を民営、半分を公営として運営し、時間延長保育、教育にも柔軟に対応しています。民営保育所のない阿波市に新しい風が吹くことを期待しています。(三木)

